

2019年6月20日

本会議質疑

無所属の中西智子です。

報告第14号「箕面都市開発株式会社経営状況報告の件」につき、質問いたします。

箕面都市開発株式会社（以下都市開発といいます）は、箕面市が99.98%出資する会社です。その意味の重さを受け止めつつ、都市開発の2018年度の事業報告、および2019年度の事業計画について、以下3点について質問します。

1点目に、事業報告書を見ると、同社の役員から箕面市の職員が外れています。その理由と経緯、今年度について説明を求めます。（昨年度のいつ頃辞職されたのか、また、後任は決まっていなかったのか、後任について市はどのように考えておられるのか、箕面都市開発（株）連絡会議ではいつ報告されているか、などについてもお答えください）

2点目に、箕面サンプラザビルの活性化策への取組みについて質問します。

サンプラザビルの衰退に歯止めをかけること、具体的な活性化策を講じることは、多くの市民の願いであり、これまでも私以外にもさまざまな議員がこの課題を取り上げてこられました。2018年度の事業報告における「既成市街地の活性化への取組み」、2019年度の事業計画のなかの「既成市街地への取組み」の記述は、それぞれ前年度の文言と全く同じなので、マンネリ化しているかのような印象を受けます。箕面サンプラザ1号館の活性化支援について、「公共施設と商業施設の一体性を高める」とありますが、具体的にどのような取組みが行われたのでしょうか。また、その取組みの成果についても教えてください。

そして、同駅前ビルの活性化に向けて、市はどのような協力や支援を行ったのでしょうか。サンプラザ1号館の1階には、箕面市が保有する床があります。私は、その床を期間限定で、例えばイベント的なものも含めて、活用を提案してまいりましたが、それがどのように実現したのか（あるいは実現しないのは何故なのか、）あらためて伺います。

3点目に、サンプラザ1号館のあり方や今後の方向性について質問します。

「耐震化の具体化」については、喫緊の課題であり、昨年に引き続き、都市開発の重点施策として位置づけられています。2018年度の事業報告では、

「箕面市の協力のもと、所有者説明会を開催した」とあります。まずは、区分所有者の方々に参加をしていただかなくてはなりませんし、そのために、ビルの管理会社でもある都市開発には、ご尽力いただいていることと思います。説明会はいつ頃行われたのでしょうか。なお現在、区分所有者は何件あり、そのうち説明会への参加件数はどれくらいあったのでしょうか。

また、耐震化策は、公共施設を利用する市民にとっても、重要な課題です。

事業報告書にある箕面市が提案した「みのおサンプラザ 1号館の建てかえの可能性を再検討したプラン」には、プラン内容については、現在区分所有者間での協議中であるため、具体的には明らかにできる段階ではないかと考えますが、せめて郷土資料館やホール、会議室をはじめとする、現況の公共施設について、示されたものが提案されているのか否かについてのみ、お伺いします。以上、ご答弁をよろしくお願いいたします。

<答弁>

ただいまの中西議員さんのご質問に対しまして、ご答弁いたします。

はじめに、1点目の「箕面都市開発株式会社の役員から市職員が外れた理由と経緯等」についてですが、昨年度、同社取締役であった本市職員が、本市の人事異動があったことから平成31年3月31日付けで取締役を辞職したものです。また、後任の取締役ににつきましては、6月21日に開催された箕面都市開発株式会社株主総会において、別の市職員の取締役就任議案が提出され、議決されています。

次に、2点目の「箕面サンプラザビルの活性化策への取組み」についてですが、昨年度は10月7日に、みのおサンプラザ名店会をはじめとする箕面地区の商業者が中心となって、定期開催している「箕面山七日市」と連携し、箕面文化・交流センターと箕面公園・箕面駅周辺商店街を周回する「LET'S GO! 滝の道ゆずのチャレンジラリー」を開催したところ、家族連れでの参加など、170人の参加がありました。また、12月7日には箕面特産のゆずをテーマにしたクイズラリー『目指せ！全問正解箕面の「ゆず」クイズに挑戦』を実施したところ、高齢者や未就学児の親子を中心に多数ご参加いただくなど、箕面文化・交流センターと商業施設の人の流れをつくり出すことによって、公共施設と商業施設の一体性を高めました。

次に、「サンプラザの活性化に向けた市の協力や支援」についてですが、市としては、ソフト面においては、TMO会社である箕面FMまちそだて株式会社に対する支援を通じて、同社やサンプラザ名店会、周辺商店街組織との連携を促進し、箕面山七日市をはじめとする各種活性化事業が継続して取り組まれる環境を整備しています。あわせて、ハード面においては、平成2

8年にリニューアルオープンした箕面駅前第一駐車場とサンプラザ1号館2階をつなぐ連絡通路を設けるなどの取り組みを行ってきました。これら取り組みの成果として、平成30年の紅葉のシーズンには市が測定を開始した平成23年以降で最も多くの観光客が飲食等を目的として駅南エリアに回遊されました。なお、本市が保有するサンプラザ1号館の床の活用については、昨年度、大阪府北部地震が発生した後、1階の店舗跡を災害ボランティアセンターとして有効活用し、延べ100名を超えるボランティアの皆さんのお力を借りることができました。今後も引き続き、箕面サンプラザ1号館の耐震化方策等を見据えながら、検討を行ってまいります。現時点において具体的な活用策はありません。

次に、3点目の「耐震化に向けたサンプラザ1号館のあり方と今後の方向性」についてですが、「みのおサンプラザ1号館の建替えの可能性を再検討したプラン」を示す所有者説明会を3月25日に開催し、区分所有者42人中、13人の参加がありました。なお、欠席された方については、箕面都市開発株式会社が個別にご説明に伺っています。また、同プランにおいて、公共施設は暫定的に会議室として示しておりますが、ビル耐震化方策の動向が未確定であることから、現時点において具体的な提案はしていません。

以上、ご答弁といたします。

■再質問

ご答弁、ありがとうございました。

1点目の市の関与について、後任の方を選任されたということですが、出資法人担当職員の方が交代することで、これまでの特定調停の経緯等が不明瞭にならないよう、しっかり引き継がれることを要望いたします。

2点目についてですが、とくにサンプラザ1階の公共床の活性化に向けた活用について、災害時のボランティアセンターとして、夕方4時まで開設されていたと記憶していますが、私が何度か覗いた時には、たまたまかもしれませんが、ひっそりとしていました。それでも、シャッターが開いていた時は、1階のフロアが明るく感じられました。非常時の時だけではなく、活性化のための有効活用を是非、前向きに考えていただきたいと、この件も要望とさせていただきます。

3点目について、せっかくの説明会なのに出席者が少なすぎると思います。

管理会社である都市開発におかれては、参加者増に向けてしっかり動いて欲しいと求めます。

さて、再質問は1点だけ、3点目の耐震化プランについて伺います。ご答弁の意味がよく分からなかったのですが、公共施設の耐震化については、店舗や住宅等とは切り分けて考えていく、という意味でしょうか。